

令和7年1月29日(水) 14:00~16:00



本日のプログラム

- | | |
|--------|---------------------------|
| 14:00~ | 1.挨拶 |
| 14:02~ | 2.スマートシティ官民連携プラットフォームの説明 |
| 14:12~ | 3.事例発表 |
| 14:57~ | 4.関連府省庁からの令和7年度事業に関する情報提供 |
| 15:37~ | 5.質疑応答 |
| 15:57~ | 6.事務局からのお知らせ |
| 15:59~ | 7.閉会 |

【質疑応答について】

質問は**ウェビナーのQ&A機能**にて受け付けますので、積極的にご質問ください。
「5.質疑応答」の時間に、申込時に受領した質問も含めて、まとめて回答いたします。

1 挨拶

② スマートシティ官民連携プラットフォームの説明

スマートシティ官民連携プラットフォームとは

スマートシティの取組を官民連携で加速することを目的に、企業、大学・研究機関、自治体、関係府省庁等を会員とする「スマートシティ官民連携プラットフォーム」を設立しています

◆ スマートシティ官民連携プラットフォームとは

- サイバーとフィジカルを高度に融合したSociety 5.0 の実現に向け、AI、IoTなどの新技術やデータを活用したスマートシティをまちづくりの基本コンセプトとして位置付け、スマートシティの取組を官民連携で加速するため、自治体および企業・研究機関、関係府省等を会員とする「スマートシティ官民連携プラットフォーム」を令和元年 8 月に発足することとなりました
- 企業、大学・研究機関、地方公共団体、関係府省等から構成されるこのプラットフォームを軸に、官民が一体となって全国各地のスマートシティの取組を強力に推進していきます

スマートシティ官民連携プラットフォームとは（合計972団体）

※令和6年12月末

会員（事業実施団体） 643団体

企業、大学・研究機関等
（456団体）

地方公共団体
（187団体）

オブザーバー会員
（314団体）

会員（関係府省） 12団体

内閣官房

警察庁

金融庁

文部科学省

厚生労働省

農林水産省

環境省

事務局

内閣府

総務省

経済産業省

国土交通省

デジタル庁

経済団体等（3団体）

（一社）日本経済団体連合会

（一社）産業競争力懇談会
（COCN）

（一社）システムイノベーションセン
ター（SIC）

スマートシティ官民連携プラットフォーム公式HP
<https://www.mlit.go.jp/scpf/index.html>



スマートシティ官民連携プラットフォームの活動概要

プラットフォームを通じて、①普及促進活動、②マッチング支援、③分科会の開催、④事業支援等を実施し、会員・オブザーバーの皆様のスマートシティの取組を支援しています

一般閲覧者に向けたコンテンツ

お知らせ



HPの「お知らせ」コンテンツにて、スマートシティに関するイベントや、各府省の事業について最新情報を発信している

取り組み事例紹介



国の支援事業を活用した取組事例を「プロジェクト」コンテンツにて公表している

② マッチング支援

ニーズ・シーズ紹介



会員・オブザーバーである自治体の「ニーズ」資料や、民間事業者の「シーズ」資料を統一の様式で公表している

動画投稿



下記の内容の動画を公開
● 会員・オブザーバーのサービス動画
● オンラインイベントの記録コンテンツ

＜一般視聴者＞
スマートシティに興味のある
・行政職員
・民間事業者
・一般市民



会員・オブザーバー

会員・オブザーバー限定のコンテンツ

メール配信



下記の内容を配信している
● スマートシティ関連イベント
● 国の支援事業・公募の案内
● 会員・オブザーバーより配信希望の情報

オンラインイベント



R6を含め、過年度もオンラインセミナーを実施している。R3、R4にはオンラインマッチングイベントを開催した

③ 分科会の開催



具体的なテーマごとに、会員・オブザーバーによる分科会を開催（現在、8分科会）

④ 事業支援

相談窓口



会員・オブザーバーを対象とした相談窓口の設置

① 普及促進活動

お知らせ、取組事例紹介、メール配信、オンラインセミナーを通して、スマートシティの最新トレンドやより深い知見、関連イベントや事業公募等の情報を取得することが可能です

◆ お知らせ

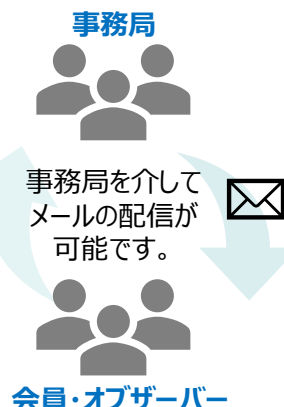
- ホームページの「お知らせ」にて、スマートシティに関するイベントや、各府省の事業について随時最新情報を発信しています

お知らせ		
2024.08.05	情報提供	【リマインド】 ニーズ・シーズシートのフォーマットを更新しました 会員・オブザーバーの皆様は8月9日（金）までにご提出をお願いいたします 会員・オブザーバー募集
2024.06.21	プレスリリース	令和6年度のスマートシティ関連事業の選定結果 内閣府 ㊟
2024.06.10	情報提供	ニーズ・シーズシートのフォーマットを更新しました 会員・オブザーバー募集

◆ メール配信

- スマートシティ関連イベントや事業公募などに関する情報をメールにて発信しています
- 本プラットフォームの会員・オブザーバーに対して、情報を発信することも可能です
※情報発信をご希望の際には事務局へ個別にご連絡ください

【問い合わせ先】
事務局: mlit.smartcity@tohmatu.co.jp



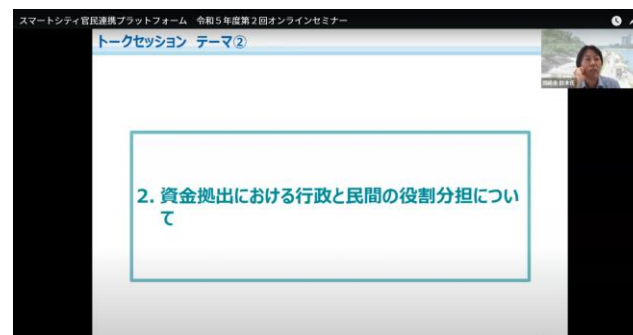
◆ 取組事例紹介

- 国の支援事業を活用した取組事例を「スマートシティプロジェクト」ページにて公表しています



◆ オンラインセミナー

- 先進地域の取組発表や有識者の講演、関連府省庁からの事業内容の共有などを通して、スマートシティの最新トレンドやより深い知見などを共有しています



令和5年度 第2回オンラインセミナーより抜粋

②ニーズ・シーズ紹介

ニーズシート/シーズシートを通して、自治体の方はスマートシティ関連技術等を保有する事業者と、事業者の方は課題を抱える自治体とマッチングすることが可能です

◆ ニーズシート/シーズシートについて

➤ 会員・オブザーバーである自治体のニーズを記載した「ニーズシート」、民間事業者のシーズを記載した「シーズシート」をHPに掲載しています

スマートシティ官民連携
プラットフォーム公式HP
<https://www.mlit.go.jp/scpf/index.html>



地域課題/取組分野のテーマ（11分野）

 交通・モビリティ

 エネルギー

 防災

 インフラ維持管理

 観光・地域活性化

 健康・医療

 農林水産業

 環境

 セキュリティ・見守り

 物流

 都市計画・整備

◆ シートフォーマット

① 提案団体名：XXXX

② 取組分野一覧

対応する取組分野をシート外のオブジェクトから移動してください

③ シーズ

サマリー・キーマッセージ
XXXのような地方公共団体の課題・目標を解決・実現するために、XXXを提供しております。

当社が提供するスマートシティサービス（概要）

④ 【取組分野】①～⑪ 一取組分野一覧を参照し適宜記載してください
【サービス名】XXXXX
➤ 貴社が提供可能な都市の課題解決・目標実現のためのサービスがあれば、概要を記載してください。
XXXXXXXXXXXXXXXXXX

⑤ 【取組分野】①～⑪ 一取組分野一覧を参照し適宜記載してください
【サービス名】XXXXX
➤ 貴社が提供可能な都市の課題解決・目標実現のためのサービスがあれば、概要を記載してください。
XXXXXXXXXXXXXXXXXX

⑥ 技術を用いて解決する都市・地域課題イメージ
➤ 上記サービスの導入イメージについて、文章・イラスト等を用いて記載してください。
XXXX

⑦ 技術を用いて解決する都市・地域課題イメージ
➤ 上記サービスの導入イメージについて、文章・イラスト等を用いて記載してください。
XXXX

⑧ サービスのイラスト・導入イメージ

⑨ サービスのイラスト・導入イメージ

当社が提供するスマートシティサービスのアピール

⑩ アピールポイントXXXXXXXXXX

⑪ アピールポイントXXXXXXXXXX

① 提案団体名：XXXX

② 取組分野一覧

対応する取組分野をシート外のオブジェクトから移動してください

③ 地域におけるサービスの導入実績

④ 導入事例①：XXXX
➤ 詳細リンク：XXXXXXXXXX
➤ 詳細：XXXXXXXXXX

⑤ 導入事例②：XXXX
➤ 詳細リンク：XXXXXXXXXX
➤ 詳細：XXXXXXXXXX

⑥ 導入及び運用コスト

➤ サービス導入コスト、および運用コストについて、記載してください。
➤ 地方公共団体・利用者の費用負担のイメージについても記載してください。
XXXXXXXXXXXXXXXXXX

⑦ サービス導入時に地方公共団体に求めること

➤ 地方公共団体へのサービス導入実績における成功ポイントや円滑に導入が進んだポイントを記載してください。
➤ また、特に地方公共団体に求めることなどがあれば記載してください。
XXXXXXXXXXXXXXXXXX

⑧ その他
➤ その他進捗事項があれば記載してください。

⑨ 問合せ先

⑩ 担当部署名

⑪ 担当部署 電話番号

⑫ 担当部署 メールアドレス

⑬ 担当ホームページ

※2024年8月にフォーマットを更新しています

8

③分科会の開催

分科会に参加し、スマートシティの取組推進において共通する課題を抱える会員相互で、課題の解決策等の検討を行うことが可能です。また、新たな課題やテーマを提案し、分科会を立ち上げることも可能です

◆ 分科会の概要

- スマートシティの取組推進において、共通する課題を抱える会員相互で、課題の解決策等の検討を行う分科会を開催しています
- 現在は8つの分科会が活動しており、各分科会活動の活動記録は、スマートシティ官民連携プラットフォームHPで確認することができます

【現在活動している分科会】

No.	タイトル
1	スポーツを核としたスマートシティ分科会
2	物流分野の効率化・省力化に関する検討分科会
3	スマートシティの財政面からの持続性確保分科会
4	都市マネジメント分科会
5	スマートシティのセキュリティ・セーフティ分科会
6	ネット・ゼロスマートシティ分科会
7	スマートシティガイドブック分科会
8	3D都市モデルの整備・活用促進に関する検討分科会

◆ 分科会の設立

- 新たな課題やテーマを提案し、分科会を立ち上げることも可能です
- 複数団体による提案も可能ですので、お気軽にご相談ください

【提案書提出・問い合わせ先】

事務局： hqt-scpf-ppp@gxb.mlit.go.jp

【想定される分科会のテーマ（例）】

○共通課題のテーマ：①交通・モビリティ（都市・地域における移動手段の確保等）、②観光・地域活性化（インバウンド振興、中心市街地の回遊性向上等）

○異分野連携のテーマ：①交通×医療（交通と医療サービスのパッケージ化）、②環境×モビリティ（再生可能エネルギーを活用したモビリティ提供）

④相談窓口

スマートシティ官民連携プラットフォームホームページの相談窓口では、スマートシティの取組を推進するにあたって生じた疑問や課題等に関して、気軽に相談することが可能です

◆ 相談の流れ

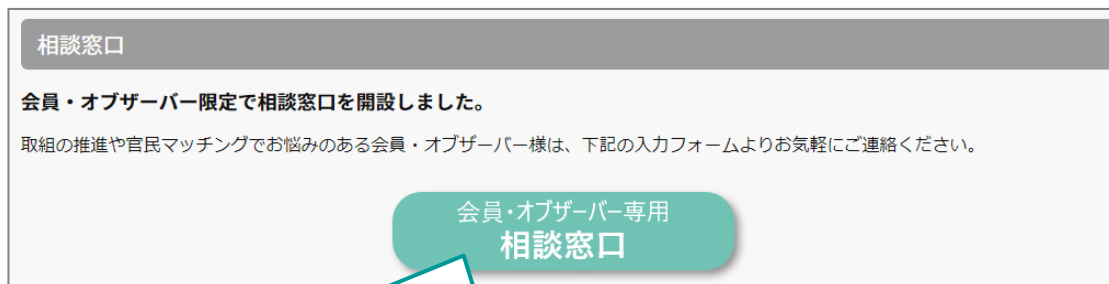
- スマートシティ官民連携プラットフォームホームページの「相談窓口」のタブをクリックしてください
- 画面が切り替わりましたら、「会員・オブザーバー専用相談窓口」をクリックしてください
- フォームに移動しますので、ご自身の基本情報や相談内容を入力いただき、送信してください
- 数日以内にスマートシティ官民連携プラットフォーム事務局より、ご記入いただいたメールアドレス宛に回答いたします



◆ 相談内容の例

下記は相談内容の事例です。

- 〇〇のサービスを持った事業者を紹介してほしい。
- スマートシティの計画を策定したいが、何から始めたらよいかわからない。
- スマートシティのサービスの実証段階で何を検討すべきかわからない。等



ボタンをクリックすると
記入フォームに移動します
相談内容を入力の上送信ください

【参考】担当者変更の際の手続き

担当者様あるいは連絡先などに更新が生じた場合は、事務局宛にメールを送付いただく形で、新しい担当者様の情報をご連携いただきますようお願いいたします

◆ 担当者および連絡先の変更手続きについて

- 会員・オブザーバーとして登録されている担当者様や担当者様の連絡先に更新が生じた場合は、**事務局宛にメールでご連絡**いただきますようお願いいたします
- 新しい担当者様あるいは連絡先などの情報をメールにて連携いただければ、事務局にて登録情報を更新するようにいたします
- ご連絡いただけない場合は、登録している情報を更新することができずメールの受け取りができなくなります。ご注意くださいようお願いいたします

※連絡いただく際には、右図のメールのテンプレートをご参考ください

【問い合わせ先】

事務局: mlit.smartcity@tohmatu.co.jp

件名:【スマートシティ官民連携プラットフォーム】担当者変更のお願い

スマートシティ官民連携プラットフォーム事務局

お世話になっております。

(例)スマートシティの山田です。

弊社の担当者変更につきまして、下記の通り変更をおねがいいたします。

・(例)スマートシティ

【変更対象者（現在）】

担当者氏名 : 山田 太郎

担当者所属先 : XX 課

電話番号 : 090-XXXX-XXXX

メール : XXXXX@smartcity.co.jp

【新登録連絡先】

担当者氏名 : 鈴木 花子

担当者所属先 : XX 課

電話番号 : 080-XXXX-XXXX

メール : ZZZZZ@smartcity.co.jp

以上、よろしくお願いします。

3 事例発表

4

関連府省庁からの令和7年度
事業に関する情報提供

5 質疑応答

事前に受け付けた質疑応答一覧

質問対象	質問事項
石川県 小松市	ライドシェアを継続していく中で、利用実績のデータが取れていくかと思います。 その中である一定区間での<u>二ーズが明確になれば</u>(特定区間の二ーズが明確化された場合)、その区間には<u>自動運転バスの定期運航を走らせるなど、可能性としてあり得る</u>のでしょうか。
関係府省庁	R7年度事業に関する<u>公示・公募等の内容とスケジュール、留意点（採択基準、より望ましい内容など）</u>を教えてください。

⑥ 事務局からのお知らせ

7 閉会